

みなさんおはようございます。今日から3学期の始まりです。3学期も、勉強、運動、クラスの活動、係や委員会など、自分ができることや、やらなければいけないことにがんばって取り組みましょう。また、友達や周りの人と仲良く過ごし、自分だけでなくみんなが楽しくなるように考えて行動しましょう。大きな行事としては、3月に卒業生を送る会、そして卒業式があります。すばらしい行事になることを期待しています。

さて、この冬休み中、大きなニュースが二つありました。一つ目は1月1日に石川県で起きた大地震。二つ目は1月2日に東京で起きた飛行機の事故です。

石川県の地震では、突然震度7という、立ってられないほどの大きな揺れがあり、家がぺしゃんこにつぶれたり、大きなビルが倒れたりしました。津波や大きな火事も発生して、100人以上の人が亡くなりました。まだ見つかっていない人も300人以上いるそうです。家族や友だちの気持ちを考えると、とてもつらく、悲しいことです。私たちにはどうすることもできませんが、そのような、つらく苦しい思いをしている人がいることは知っていてください。それだけでも意味があります。

飛行機事故の方は、大勢のお客さんを乗せた大きな飛行機が飛行場に着陸した瞬間、もともと飛行場にいた小さな飛行機とぶつかってしまったという事故でした。ぶ

つかった衝撃で、小さな飛行機は完全に壊れ、乗っていた人の中には亡くなった方もいたそうです。大きな飛行機の方はぶつかった瞬間に大火事になったそうですが、乗っていた379人の人は全員脱出し、奇跡的に亡くなった方はいなかったそうです。

この2つのニュースを見て感じたのは、「事故や災害は忘れた頃に突然やってくる。いつ来るか分からないけどいつかは必ずやってくる。」ということです。そして、もし今この瞬間に、事故や災害が起きたら、どんなことが起こるのか、自分はどうすればいいのか、ということ普段からよく考えておくことが大事だと思いました。

地震で怖いのは、上から落ちてくる物、倒れる物、窓ガラスなどの割れる物、家族と離ればなれになってしまうこと、つながらなくなる携帯、などです。

火事で怖いのは、吸うと命の危険がある有毒な煙、パニックになってしまう大勢の人々、です。

飛行機事故で、379人の人が奇跡的に脱出できたのは、「口と鼻をふさいで姿勢を低くしてください」という客室乗務員の指示を、みんながちゃんと守ったからだそうです。火事が起きてから10分以上、客室乗務員やパイロットが一番安全な避難の仕方を決めている間、飛行機の中で待つしかなかった人たちは、とても怖く不安だったと思います。でも自分だけは助かろうと騒いだり

暴力を振るったりする人は一人もいなかったそうです。中には「大丈夫だ！」「落ち着いて！」と、周りに声を掛ける人もいたそうです。

学校でも、地震や火事の避難訓練を何回もやっています。この1月にも行う予定です。「でも、本当に意味のある訓練になっているのだろうか？」校長先生はちょっと不安になりました。地震や火事は起きてほしくありませんが、いつかはどこかで必ず起きます。そのことを決して忘れないでください。